

あたたかい “おもてなし”

大会期間中は、市内高校や特別支援学校の生徒、一般のボランティアの方々と市職員、延べ700人弱が協力し、会場内や清掃、ID確認、駐車場誘導、弁当配布、おもてなしなどの係に分かれ、いきいきと大活躍してもらいました。

また、おもてなしコーナーでは、9つのおもてなし協力団体による結城市ならではの特産品や料理が振る舞われ、観客の皆さんに結城の味を楽しんでもらいました。

そのほか、多くの市民の方々の手によって作成された歓迎装飾が、会場内を華やかに盛り上げ、選手や観客の方々を楽しませていました。



総合開会式

9月28日、笠松運動公園にて開催された総合開会式。茨城県選手団の旗手を、結城市出身の中山由起枝選手が務めました。

天皇・皇后両陛下ご臨席のなか行われた開会式では、オープニングプログラム、式典前演技、選手団入場などが行われた後、県内44市町村から集火した火が炬火台に灯りました。また、市内の小学生が、ラジオ体操や、炬火走者として参加しました。



問 市スポーツ振興課国体推進室 | ☎ 45-6530



オープニングセレモニー

10月1日、市民文化センターアクロスにて開催されたオープニングセレモニー。

歓迎の挨拶や茨城県チームのキャプテンによる力強い選手宣誓が行われた後、歓迎アトラクションとして、結城市出身のピアニスト、結城紬大使の宮本貴奈さんを中心とした”ゆめ国体スペシャルバンド”と市内中学生によるダンス、結城紬太鼓がコラボレーションしたミニコンサートを行いました。選手たちは笑顔でコンサートを楽しみ、会場は大いに盛り上がりました。



いきいき茨城ゆめ国体バレーボール少年女子は、10月2日から5日までの4日間、かなくぼ総合体育館にて開催されました。

コート内では、強烈なスパイクや粘り強いレシーブなど、一球一球ボールを大切につなぐ華麗なプレーが展開され、会場は連日大盛り上がり。市内の小中学生は、全国トップレベルの競技に触れながら、来結された各代表チームをおもてなしの心でお迎えするため、応援団として試合に参加しました。大きな声援だけではなく、スティックバルーンをカー杯に叩き、会場を盛り上げ、選手を勇気づけてくれました。

競技運営は、茨城県バレーボール協会が主体となり、市内中学校・近隣高校の生徒と連携して行いました。何度も研修会を開催し、準備万端で迎えた国体では、真剣な眼差しと機敏な動きで、試合運営が円滑に行われました。

2011年以来8年ぶりの出場となった茨城県代表は、1回戦でフルセットの末、富山県を破ると、続く2回戦でもシードの福岡県をストレートで破り、見事7位入賞を果たしました。

ハイレベルな熱戦 鳴り響く声援

都道府県名	10月2日(水)	10月3日(木)	10月4日(金)	10月5日(土)	10月6日(日)	10月7日(月)	10月8日(火)	都道府県名
	1回戦	2回戦	準々決勝 5・7位決定戦 準決勝	3・4位 決定戦 準々決勝 5・7位決定戦 準決勝	準々決勝 5・7位決定戦 準決勝	2回戦	1回戦	
岡山県 1		2						13 京都府
長崎県 2		1						14 愛知県
北海道 3		0						15 栃木県
奈良県 4		2						16 鹿児島県
群馬県 5		1						17 徳島県
千葉県 6		1						18 宮城県
大阪府 7		2						19 福岡県
長野県 8		0						20 茨城県
三重県 9		2						21 富山県
山梨県 10		2						22 広島県
愛媛県 11		1						23 秋田県
大分県 12		2						24 東京都

【バレーボール少年女子】試合結果